

自立が始まる森に手を添えて!

● 23回目の「百年の森づくり」!

昨21日(日)は、「浦高百年の森・下刈り」でした。平成17年10月から始まった森づくりも、毎年3回、春の植栽、夏の下刈り、秋の間伐を繰り返して今回が丸8年、23回目の作業でした。

いつものように私たちは朝7時15分に春日部駅西口に集まり、車で寄居町へ向かいました。最近では白岡町の「柴山沼」の脇を走り、県道312号に出て久喜市、北本市を抜けて荒井橋で「荒川」を渡ります。吉見町に入って吉見高校入口を過ぎたところで北上し、「道の駅・いちごの里よしみ」を左手に見て荒川右岸の農道をひた走ります。小八林で熊谷市に入って途中、道が久下橋に別れる屈戸のコンビニで休憩と昼食の調達を行いました。ここまでが約1時間30分、さらに県道81号線に乗り関越自動車道、東武東上線を越えて塩沢の交差点で国道254号線とぶつかります。露梨子の交差点を右折して鉢形城方向へ進み、城跡をかすめて寄居折原ICから



「皆野寄居バイパス」に乗りトンネルを抜け、寄居風布ICで降り目的地麓の風布川に到着、9時15分でした。ここから山道を登り「百年の

森」には9時25分頃到着しました。

開会式が行われる「体験の森」にも浦高発のバスや寄居駅発のバスで来られた皆さん、浦和一女麗風会の皆さんなどが集まって来られました【写真①②:「体験の森」の山小屋前にて】。



10時、開会式です。森委員長で同窓会の小室正人・副会長のご挨拶【写真③:写真右端】。「皆さん、おはようございます。8年目の下刈り

作業は雨が降らない、日が照らない、下界とは5度違う素晴らしい環境の中で実施することができます。これも皆さんの心がけの良さだと思います。今日は140名以上の方が参加してくだり、ありがとうございます。木々も大きくなって草があっても影響のない場所もあり、森が育ってきました。100年後の姿を思い、今日も山に愛情を込めてください。」

続いて杉山剛士・浦高校長のご挨拶。「4月から第29代の浦高校長となりました杉山でございます。校長となって早く“浦高百年の森”“浦和一女麗風会の森”に来なければと思っていたのですが、今日、その願いが叶いました。中国春秋時代の宰相・管仲の言葉に“一年先を思うは穀物を育て 十年先を思うは樹木を育て 百年先を思うは人を育てる”という



ものがありますが、皆様の未来を思う心がまさに森づくりであり人づくりだと感じました。」

【写真④:挨拶風景】

続いて浦和一女麗風会の林千鶴子・会長のご挨拶。「浦和一女麗風会の森も6年目を迎えました。これも一重に農林公社の皆さん、浦高の皆さんのご支援の賜です。今日は50人、バス2台で参りました。現役生徒も8人が参加してくれています。ぜひ安全に楽しく作業を行いたいと思います。」

この日の参加者は資料よりも多く、浦高同窓会関係者約100名、浦和一女同窓会関係者50名とのことでした。

【写真⑤:19名の現役生徒達】

作業に入る前に21回卒業生 司さんからハチについての注意が。



「皆さん、今年は暑い日が続きましたのでハチがいます。特に危険なのがムモンホソアシナガバチです。普段はフワ〜と巣の周りを飛んでいるのですが、脅かされたりすると素早く攻撃してきます。特に巣



が高さ1.5mまでの草の葉裏にあり、鎌で刈ったりすると一気に攻撃してきますので注意してください。ハチが飛んでいる辺りには巣がありますので観察し、ゆっくり退いてください。私も数日前に娘と来て刺されました。アナフィラキシーショックは、一度刺されてショックがあった方は死に至ると怖いものです。ショックの無かった方は痛みだけが残ります。いずれにしても気を付けて作業してください。」【写真⑥:ムモンホソアシナガバチ】

ご挨拶や注意事項を伺い、それぞれがグループに分かれての作業です。今回も一番多いのが今年75歳になられる9期生23名の方々です。この森作業では50代から60代が働き盛りです。(ˆoˆ)v

●森に入る！



さて働き盛りの私たち3班が担当したのは里山林とアカマツ植栽地の下刈りです。私は体力のある柔道部の皆さんと一緒にアカマツ植栽地の斜

面の下刈りに挑みました。大鎌でバッサバッサと行くのですが何しろ足元の悪い斜面なので約1時間の作業でしたが厳しいものがありました



【写真⑦⑧】。

昼休みにオーボエ演奏を披露してくださる渡辺克也さん(37回)も斜面に挑んでくれました【写真⑨】。

現役生徒たちは、

里山林の下刈りです【写真⑩⑪】。小室森委員長がおっしゃったように、木々が自立して育っている場所の下草は大きく育たず、50cmにも及びませんが、日光が当たる場所の下草は2m程度の木々を隠



してしまうほどです。現役の皆さんにとっても良い体験であったと思います。11時40分、午前中の作業を終了し「体験の森」に戻り昼食です。



昼の楽しみは、川野幸夫会長が差し入れてくださる冷えたトマトとキュウリ、スイカです【写真⑫⑬】。

汗をかいた作業の後でいただく昼食は美味しく【写真⑭】、冷えたスイカの甘さ、キュウリに付ける味噌の味も格別でした。料理長の綿貫均



さんに感謝です【写真左⑮:右側が綿貫さん】。

昼食後は、世界的オーボエ奏者の渡辺克也さんによる「森のコンサート」でした【写真⑯】。演

奏曲は昨年お亡くなりになられた内藤前森委員長、川本前会長を偲んでイタリアの作曲家ニーノ・ロータのオーボエとピアノのための『エレジー』、軽快な曲、ヴィットーリオ・モンティ作曲の『チャールダーシュ』、そして『浦和高校校歌』でした。

午後1時前から約40分の残りの作業を終えて閉会式、そして集合写真。



【写真⑰:浦高同窓会での集合写真】



そして最後に春日部地区浦高会参加者6人で杉山校長先生を囲んで記念撮影。【写真⑱:1列目中央が杉山校長】

帰路は、小川町の健康増進センターのお風呂で汗を流して帰宅しました。